

先輩インターンの活躍について

派遣年度	2014	インターン番号	KB1120	タイプ	公募型
派遣国	ミャンマー連邦共和国			派遣都市	ヤンゴン
受入機関	Myanmar Industries Association (MIA)				
受入機関概要 (事業内容等)	ミャンマー工業会議所 セミナー及びマッチング業務				
派遣期間	2014年10月6日 ~ 2015年2月25日				
現在の所属先	世紀東急工業(株)		当時の所属先	同左	
現在の所属部署	国際事業グループ ミャンマー支店		所在地	ヤンゴン	
区分	大企業		性別	男	

1. インターンシップに参加されたきっかけや動機についてお聞かせください。

当社はオリンピック後の建設業界の市場性として、海外進出を視野に入れるような考えがあり、その第一歩としてインターンシップを通じて市場調査を行って来てくれとの会社の指示があり、市場が見いだせれば支店を登記し、現地責任者へ就任させてくれるというので参加しました。

2. インターンシップではどのようなことをされましたか。

インターンシップでは現地企業、外国企業、日系企業が行うセミナーのサポート業務及び、日系企業の窓口として就労体験を行いました。内容はセミナーを行う企業との日時・時間の打合せ、会場の設営を行う運営です。

また、道路事業における市場調査を行いました。

3. インターンシップに参加して達成できたこと、参加して良かったことは何でしょうか。

インターン受入機関を通じて、色々な方々を紹介してもらい、その繋がりで工事およびアスファルトプラント設立の必要性を見出すことができました。

今回のインターンシップ業務において、現地企業及び日系企業またはミャンマーの役人の方々など様々な人脈が構築できたのが一番良かったと思います。このインターンシップで得た人脈は、支店を登記した今も良いお付き合いをさせて頂いています。

インターンシップ風景



セミナー様子



受入機関にて

4 インターンシップの経験は、その後どう活きましたか。具体的なエピソードを交えて教えてください。

インターンシップ中の人脈を活かして日々、就労・市場調査で駆け回りました。実際に足を運んでの市場調査は会社から評価され、調査報告を毎度メールやテレビ電話等で報告していました。インターンシップ終了後に会社で最終報告会を行ったところ、市場性があるとの判断がされ、すぐに会社登記をすることとなりました。今ではミャンマー支店長という現場責任者に就任しており、インフラ関係の工事を追いかけています。おかげさまでインターンシップ期間中に獲得したネットワークが、その後、2案件の受注に繋がり、日々奮闘しております。

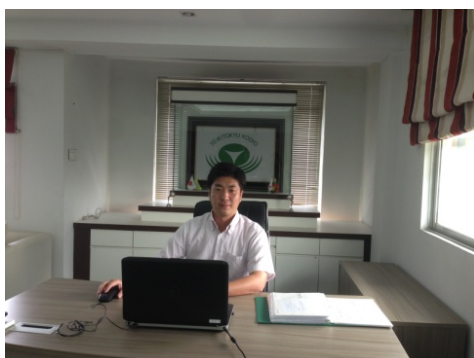
しかし、まだまだ課題がたくさんあります。もともと私は技術屋でありますので、日本人1人で運営していくには会計や経理などの事務系の能力も修得しなければなりません。今現在勉強中ですが、これもインターンシップの経験がなければできなかったことだと思い、やりがいがあります。早くスーパーマンになれるように「日々是鍛錬」で突っ走っています。

インターンシップの経験を行ったことにより、現地で同業種ではない、色々な業種の方々と繋がりが出来ました。まず日本においては異業種の方と交流を深めることはそうそうはなく、とても良い人脈が構築できたと思います。このおかげでコミュニケーション能力や行動能力が向上し視野が広がりました。私が今ここヤンゴンにいられるのはインターンシップ中にできたこの人脈のおかげだと思っています。現在でも、この繋がりは非常に大事にしており、人が人を呼ぶようにどんどん人脈が拡大していったる現状です。

5. 最後に、インターンシップへの参加を検討している人たちへメッセージをお願いします。

インターンシップを通じて自分の目標を最初に掲げていれば自分の行動が主観的にも客観的にも見えてくるので良い結果が必ず得られると思います。また、今までにない人脈を構築でき、人生においてとても良い経験となりますのでお勧めいたします。

現在の活躍の様子



ヤンゴン支店オフィスにて